

1. 小児歯科における院内の環境づくり

九州小児歯科集談会 田口 共子

小児の歯科治療を成功させる上で、子どもやお母様方の協力を得るということは、大きなポイントではないかと思えます。私たちは日々の診療のなかで、子ども達やお母様方の協力を得てスムーズに診療を行えるような雰囲気づくりを行なっています。

小児歯科といっても、診療室の広さ、ユニットの数、Drやスタッフの人数、対象年齢地域によってもその趣は違ってくることでしょう。

今回は、九州小児歯科集談会の会員の中の6医院から、待合室や診療室、ユニット周りのディスプレイ、掲示板などによる情報スペース、予防コーナー、お絵書きコーナーや遊び場の設置、待ち時間の活用法などなど各医院が行っている、コ・デンタルスタッフレベルで小児歯科ならではの気配り・工夫点をいくつかあげてもらい、まとめてみました。

子どもが来院してから治療を行って帰って行くまでの一連の流れをおいながら、小児歯科の診療室の中にいる雰囲気公开发表したいと思います。

2. 母親に対し、心情を理解した上での指導について

三橋歯科 大崎 美和

私達が子供達に対し、診療を歯科医師と共に行う上で、保護者としてのほとんどを占める母親との関りが重要なものとなっているのは皆さんも十分にご存じの通りです。

小児の治療には母親の理解と協力は不可欠で、母親への指導が受けいれられれば小児への治療の半分は成功したといっても過言ではないでしょう。

子供達の口腔環境、ひいては心と身体のおかれる環境を母親が大きく左右します。つまり母親にたいして積極的なアプローチを持つ事がより良い小児の歯科治療に役立つ事であると考えられます。

しかし、日々の忙しい診療室の中では子供達の心のコントロールだけでもおろそかになりがちです。ましてや、母親の存在の重要な意味を知らながら十分な対応ができないのが現状ではないでしょうか。

そこで私達は、母親のタイプというものについて、幾つかのパターンがあるのではないかと考え、母親への指導に役立てたいと思いました。

母親のタイプといっても挙げるときりがありません。そこで、母親の、子供の治療に接した時の反応により、4つのタイプに分けました。

すべての母親をこれで分類できるわけではありませんが、様々な家庭環境や育児への考え方の違いを持つお母さんたちの苦労も考えてみるよい機会となりました。その上でそれぞれの母親に対するアプローチを考えてみました。

よりよい小児歯科治療の手助けになれば幸いです。